

ラサール神父との出会いと関りについて ～ わたしの召命とあかし ～ 深堀升治神父様に聞く



講師の深堀神父様は、1937年長崎市生まれ。父親の転勤で広島に引っ越した翌年8歳の夏、南観音町の自宅から、母に頼まれた近所の人に野菜を届けている途中で被爆。深堀家はカトリックの家系で、広島に引っ越してからは幟町教会に通い、戦後は南観音町から徒歩で通っていた。当時の幟町教会の主任司祭は、ラサール神父様。原爆で荒廃したこの地

に恒久平和を祈るための大聖堂を建てようと、原爆の惨状を訴えながら世界を行脚したラサール神父様との出会いと関りについてお話を伺います。

日時：2023年10月8日（日）11:00～12:00

場所：世界平和記念聖堂 地下聖堂

講師：深堀升治神父（広島司教区）

主催：広島地区平和推進チーム

問い合わせ先：peace19810225@yahoo.co.jp



◎フーゴ・マキビ・エノミヤ=ラサール神父◎

1898年11月11日ー1990年7月7日

ドイツ生まれのイエズス会宣教師。1948年に日本に帰化。日本名は愛宮真備（えのみやまきび）。被爆当時の幟町天主公会 主任司祭。キリスト教聖職者の中で、初めて座禅を宗教生活の中に取り入れた。